

この度はご紹介、誠に有難うございます。

がん遺伝子パネル検査を希望される患者さんがおられる場合、下記のチェックリストを用いて保険適用をご確認いただき、次頁「申し込み手順」に従ってお申し込みをお願いいたします。

◆当院で現在行っているがん遺伝子パネル検査

[保険診療] 初診時：初診料、検査費用 44,000 点 等

結果説明時：外来受診料、結果説明時12,000 点、遺伝カウンセリング料1,000点 等

- ① OncoGuide™ NCC オンコパネル
- ② FoundationOne® CDxがんゲノムプロファイル
- ③ FoundationOne® Liquid CDxがんゲノムプロファイル
- ④ Guardant360® CDxがん遺伝子パネル
- ⑤ GenMineTOP がんゲノムプロファイリングシステム

[自費診療]

- ① 自費 FoundationOne® CDxがんゲノムプロファイル（自費診療）
受診料 10,000 円＋消費税、検査費用 616,000円 等
- ② 自費FoundationOne® Liquid CDxがんゲノムプロファイル（自費診療）
受診料 10,000 円＋消費税、検査費用 616,000円 等
- ③ Guardant360-LDT（自費診療）
1回目：受診料 10,000 円＋消費税、583,000円 等
2回目：受診料 10,000 円＋消費税、468,600円 等
- ④ PleSSision（自費診療）
受診料 10,000 円＋消費税、検査費用 561,000 円 等

◆保険診療でのがん遺伝子パネル検査チェックリスト

- 原則 16 歳以上
- PS=0 もしくは 1
PS=0：まったく問題なく活動できる。発症前と同じ日常生活が制限なく行える。
PS=1：肉体的に激しい活動は制限されるが、歩行可能で、軽作業や座っての作業は行うことができる。例：軽い家事等
- 悪性固形腫瘍と診断されている
- 治癒切除不能または再発の病変を有し以下のいずれかの条件に該当する
 - 原発不明がん
 - 標準治療がない（希少がん）
 - 標準治療が終了している
 - 標準治療の終了が見込まれる
- 結果説明（1 ヶ月半-2 ヶ月後）のため、当院外来に受診可能と見込まれる
- （検査結果により推奨される）治験・臨床試験等へ進める見込みがある
- （腫瘍組織検体での検査の場合）5年以内に採取されたFFPE標本ブロックがある
- （血液を用いた検査を希望される場合）実質臓器に複数箇所の病変を認め、（抗がん剤治療中の場合）病気の進行を認める

◆がん遺伝子パネル検査を受けられる場合の留意点

がん遺伝子パネル検査は保険診療となりましたが、保険適用のある方は限られており、また実際の治療に結び付く方も多くはないのが現状です。四国がんセンターへご紹介くださった患者さんには、充分この点についてお話をさせていただいた後に検査へ進みますが、事前に下記項目について貴院でもご確認くださいませようお願い申し上げます。

- がん遺伝子パネル検査は、治療経過や患者さんの健康状態によっては保険診療で行えない場合があります。事前判断はできないため、四国がんセンターに受診され、診察をお受けいただいた後に決定します。
- 保険診療の適用とならない場合も、自費診療での検査は可能です。可能な検査について、診察の際にお話させていただきます。
- 検査を受けてから結果をお話できるまでに約 1.5~2 ヶ月かかります。標準治療が終了している患者さんは、予後が厳しいケースも多いため、結果をお待ちいただく間に体調が悪化し、患者さんご自身が結果を聞きに来ることができないこともあります。保険請求の都合上、保険診療でのがん遺伝子パネル検査は、結果説明に患者さん自身がご来院いただける方に限らせていただいております。
- 上記で示したがん遺伝子パネル検査の金額に検査後の治療費は含まれておりません。
- 検査の結果、治療に結びつく可能性がある方は 1 割です。また、薬剤が見つかって、保険適用外のことがあります。保険適用外の薬剤を用いる場合には、高額の薬剤費を含めた治療費が必要となる可能性があります。
- 検査後の治療に関しては、原則紹介医にお願いしております。
- 上記について、お話をさせていただくにあたり、原則ご家族の方に同席いただくようお願いしております。

◆**申し込み手順** 必要書類は当院のホームページよりダウンロード可能です。

手順 1) 地域医療連携室へ FAX でお申し込みください。

- ① 診療情報提供書（医師が記入：当該診療科宛・がんゲノム外来宛）
 - ② C-CAT 登録 記入用紙【紹介元記入分】（医師が記入）
 - ③ 検体情報チェックリスト（医師が記入）
 - ④ 病理診断報告書
- を、地域医療連携室 FAX (089-999-1115) にご送付下さい。

手順 2) 書類原本・検体を、当日持参または、配達記録の残る方法で外来担当医あてに郵送してください。

- ①~④の原本
- ⑤ ホルマリン固定パラフィン包埋 (FFPE) 標本ブロック（ある場合）

検体の準備は紹介元の先生にお願いしております。ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

- 検体は腫瘍細胞が多く含まれている部位を選択してください。
(腫瘍細胞含有率 20%以上、可能ならば 50%以上)
- 中性緩衝ホルマリン以外のホルマリン（緩衝作用のないホルマリン、酸性ホルマリン）で固定されたものやホルマリン固定時間が長いもの（48 時間を超えるもの）や、古い検体（5 年以上経過したもの）は核酸の状態が悪く、検査ができない可能性が高くなります。
- ブロック標本の貸出しが困難な場合は適宜ご連絡ください。

【申し込み先】

四国がんセンター 地域医療連携室
 直通電話番号：089-999-1201 FAX 番号：089-999-1115
 受付時間：8 時 30 分~17 時 15 分（土曜日・日曜日・祝日を除く）
 〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲 160 番